

報告書抄録

ふ り が な	京都府遺跡調査報告集
書 名	きょうとふいせきちょうさほうこくしゅう
副 書 名	
巻 次	第171冊
シ リ ー ズ 名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第171冊
編 著 者 名	加藤 雅士・村田 和弘・筒井 崇史・酒井 健治・山崎 美輪・納屋内高史
編 集 機 関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所 在 地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番03 Tel. 075(933) 3877
発 行 年 月 日	西暦2018年3月31日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡 番号	° ' "	° ' "		m ²	
まついおうけつぐんだ いいちじ～よじ	きょうとふきょうた なべしまついむかい やま・かみにしうら					20120123 ～ 20120228 20120606 ～ 20130306 20130422 ～ 20140227 20140415 ～ 20150306	1,000 5,215 1,800 3,190	道路建設
松井横穴群第1～ 4次	京都府京田辺市 松井向山・上西 浦	26211	2	34° 50' 32"	135° 43' 53"			
むかいやまいせきだい いち・にじ	きょうとふきょうた なべしまついむかい やま・かみにしうら					20120123 ～ 20120228 20131002 ～ 20131225	— 842	道路建設
向山遺跡第1・2 次	京都府京田辺市 松井向山・上西 浦	26211	3	34° 50' 34"	135° 43' 55"			

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
松井横穴群第1～4次	横穴	古墳～飛鳥、中世	横穴	須恵器・土師器・埴輪・陶棺・鉄器・金銅製品・人骨・瓦器	
向山遺跡第1・2次	散布地	弥生	竪穴建物・土壙墓・土坑・柱穴	弥生土器	

所収遺跡名	要 約
松井横穴群第1～4次	今回の松井横穴群の一連の調査により、70基の横穴を確認・調査し、合計81基の横穴の分布が確認された。遺跡の範囲より、松井横穴群全体では300～400基の横穴が存在するものと判断される。近在の女谷・荒坂横穴群で300基程度の横穴の存在が予想されているほか、狐谷横穴群、美濃山横穴群が分布しており、松井横穴群の所在する八幡市から京田辺市にかけての約1.5kmの範囲内には、総計600～700基の横穴が存在することが想定される。この数字は横穴群としては西日本で最大級である。こういった大規模な横穴群造営の背景には、中央政権による南山城の地域掌握の進展が進められたことが推定され、当該時期の地域の歴史を知るうえで欠くことのできない極めて重要な遺跡である。
向山遺跡第1・2次	弥生時代中期の土坑1基、弥生古代後期の竪穴建物1基、弥生時代の可能性が高い土壙墓2基を確認した。向山遺跡周辺の八幡市～京田辺市にの丘陵地帯には、八幡市美濃山廃寺下層遺跡や備前遺跡、幣原遺跡、京田辺市田辺天神山遺跡などで弥生時代の集落が確認されている。低地の集落の様相は不明であるが、丘陵上の集落の調査事例が増加した。